



社会参加委員会便り No. 7

名古屋市高年大学「鯨城学園」学生協議会
社会参加委員会
(名古屋市中区栄1-23-13鯨城学園内)

30期生が仲間に加わった新年度の初めての社会参加委員会便りです。本号では平成27年度の社会参加活動の計画と抱負を社会参加委員会の委員長、各班長に語って戴きました。また、26年度3学期に行われた社会参加活動のトピックスもお知らせします。

◇ 平成27年度の活動計画（社会参加委員会からのお知らせ）

学生数の大幅増と運営体制の変更が行われた昨年度に続き、今年度は一部学生応募数の減少など鯨城学園にとって、まだまだ大変革の途上にあります。このような環境下においても、私共鯨城生に期待されるものは大きく、社会参加活動への参画拡大と地域社会への貢献拡大を図らねばなりません。その為に、社会参加委員会としては、昨年拡大された体制（学生協議会・社会参加委員8名、クラス社会参加委員62名、総勢70名）のもと、全委員が4班に組織化され、各班が密に連携して下記の4活動を行うと共に、クラス委員は、よりクラスに密着し学生とのパイプ役に努め、活動の輪を円滑に回転させていきます。

「一年に一度はボランティアを」

「出来る時に出来るだけ、そして自分も楽しむ」

を合言葉に1年間やって行きますので、皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

(服部春孝・社会参加委員長)

1. ボランティア活動の推進

全学対象のボランティア活動としては下記のを計画しています。

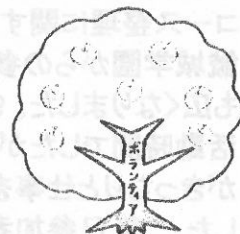
5/16(土) 藤前干潟・春のクリーン大作戦(雨天の為中止)

10/ 3(土) クリーンキャンペーン

10/24(土) 藤前干潟・秋のクリーン大作戦

11/ 7(土) 堀川清掃大作戦

3/13(日) 名古屋ウイメンズマラソン2016



昨年の活動経験を踏まえ、今年の参加者には“参加して良かったな”、“お役に立てたかな”等 活動後に達成感を覚えるようなボランティア活動を目指したい。折角参加いただいて事後に“何しに来たの? ”、“時間の無駄遣いだった”と思われるような活動にはしたくないと強く感じております。そのためには、事前の確認、周知徹底などをしっかりと行いたい。

(奥知昭彦・第1班班長)

2. 社会参加活動の実施把握・開拓

新入生に対するアンケートを実施し、ボランティアに関する意識や活動実態を把握し、今後の情報提供など社会参加委員会活動の参考とさせていただきます。また2年生には、卒業前に同様なアンケートを実施して学園生活による変化を把握し、今後の活動の充実化と各種地域貢献活動に役立てたいと考えています。昨年の新入生(29期生)アンケート調査結果からは、学園生の社会参加活動に望む声として次の様な内容が多く有りました。

1. 環境美化、街づくり、防災・防火、教育スポーツ等の労力提供型の活動
 2. 高齢者福祉、障害者福祉は、特に女性が考えておられるようです
 3. 社会への恩返し、仲間づくり、生きがいくくり、地域社会をもっと知りたい等の社会貢献。
- この様に活動したいと思っている方に多くの情報提供ができるよう活動していきたいと思っています。

(水谷敏夫・第2班班長)

3. ボランティアセンター(社会参加サロン)の運用

7階事務所窓口横に、ボランティア活動情報交換場所”ボランティアセンター(社会参加サロン)”があります。色々なボランティア活動情報・資料が置かれていて共に、毎週水・金曜日の共通講座終了後(12:00~13:00)には社会参加委員が待機し、皆様のお役に立てる情報交換のお手伝いをさせていただきますので、是非お立ち寄り下さい。

本年3月に行われた29期生のボランティア活動実態調査によれば、一人で数件のボランティアを鯨城学園へ通いながらも続けておられる方がおられます。なかなか出来る事ではないと頭の下がる思いです。これら貴重な情報もボランティアセンターに置くと共に、活用方法を引き続き検討していきます。(関口嘉奈子・第3班班長)

4. 「社会参加委員会便り」などによる周知・啓蒙活動

年4回発行予定の「社会参加委員会便り」で皆様の活動状況を出来るだけタイムリーにイキイキとお知らせしたいと思っています。クラスやクラブで独自に行われているボランティア活動も紹介させていただきますので皆様の投稿をお待ちしています。(水谷邦彦・第4班班長)

◇ ボランティア活動の報告(26年度3学期)

1. 名古屋ウイメンズマラソン2015

3月8日(日)にマラソンフェスティバルナゴヤ・愛知が参加ランナー2万人(内ウイメンズマラソン1万8千人)、サポートボランティア9千人の規模で行われ、鯨城学園から641人がコース整理に関するボランティアで参加しました。

鯨城学園からの参加数は昨年よりも大幅に増え、活動区域も広くなりました。9時に集合し16時に解散という大変長い活動時間でしたが、好天に恵まれ、また参加メンバー全員がきっちりと仕事をするにより役割を果たすことができました。後日参加者全員に感謝状(右図)が贈られ、当日支給されたウェアと帽子と共に良い記念の品となりました。

ボランティア感謝状



鯨城 ふしみ 様

おかげさまでボランティアの参加人数9,000人！
あなたもその一人です。大会とランナーを支えて
くださいましたことに感謝します。

平成27年3月8日

マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知実行委員会

2. 卒業生(28期生)が地域に恩返し

卒業目前の2月13日(金)に28期生活学科B組の皆さんが伏見ライフプラザと地下鉄伏見駅の通学路、御園通り、仲の町公園の清掃活動を行いました。2年間お世話になった地域に対する恩返しとしてクラスの女性からの提案にクラスの殆どのメンバーが賛同して、中土木事務所とも相談の上、行われたものです。当日は雪まじりの悪天候でしたが、作業が終わった後は全員清々しい気持ちになったそうです。詳しくは、鯨城学園のホームページに掲載されています。
<http://www.kojogakuen.com/pdf/ongaeshi.pdf>

3. 29期生ボランティア活動実態調査結果の報告

26年度末の3月に29期生対象にボランティア活動実態調査(アンケート)が行われました。回答総数:81件、内公開可は38件でした。今回の調査は年度末に行われた為に連絡および回収が円滑でなかった問題点も有りましたが、多くの方のご協力が戴けました。厚く御礼申し上げます。この貴重な情報はボランティアセンターに置くと共に、今後の社会参加委員会の活動に活用させていただきます。